

聞いてください。

新宿で出会った 日本で暮らす韓国人の声

전 미스코리아로서 활약하는 드라마 작가가 되는 게 꿈
지금은 일본의 역사와 사회에 대해 공부하고 있습니다.

김수현씨 (20대 여성 학생)
일본거주1년반

結婚を機に来日しました。
子どもの友達は日本人ばかり
という状況で、韓国人であることを
どう教えるかが悩みです。

Cさん(30代女性・主婦)
日本在住9年

家族みんなで16年間
幸せに暮らしてきた感謝の気持ちから
3.11の震災時には積極的に
ボランティア活動に取り組みました。

CHさん(30代・女性)
日本在住16年

政治の問題を乗り越えられるのは芸術だと思います。
私は、いい映画を撮って、韓国と日本の架け橋になりたい。

イサオさん(30代・男性)
日本在住3年

初めて日本に来たときにパンの美味しさにびっくり。
将来は韓国でパン屋さんを開くことが夢なんです。

PHさん(20代女性・学生)
日本在住1年半

日本のアニメーションとゲーム 그리고
음악에 충격을 받고 유학을 결심했습니다.
지금은 음향 엔지니어가 되기 위해
공부하고 있습니다.

○ 씨 (20대 남성)
일본거주 1년반

共に地域で生きる『韓国人100人』のリアルを伝えるプロジェクト

新宿のニューカマー韓国人の ライフヒストリー記録集の作成

신주쿠에 새롭게 이주해 오신 한국인들의 라이프 히스토리 기록집 작성

一顔の見える地域作りのための基礎作業一

実施期間:2009年11月~2011年10月
トヨタ財団2009年度研究助成(D09-R-0422)

概要

本プロジェクトは、新宿で出会った100人の韓国人ニューカマーに一人一時間程度のライフヒストリー・インタビューを行い、その内容を本人の同意のもと、定期的に印刷物・ホームページで公開し自由に共有できるようにした取り組みです。日本で暮らす韓国人の実情を伝え、日本人の韓国人に対する理解とインタビューを受けた本人の社会への所属意識を高め、地域のつながりを作る手がかりを得ることが目標です。